

地域における家庭教育支援基盤構築事業「家庭教育支援研究協議会」

令和3年12月3日(金)、地域における家庭教育支援基盤構築事業「家庭教育支援研究協議会」をオンラインで実施しました。本事業は、家庭教育支援チーム(※)設置の重要性について理解を深めるとともに、地域枠を超えた情報交換や事例発表などを通して家庭教育支援の一層の充実を目指しているものです。

当日は、家庭教育サポート企業の代表として栗山町の有限会社西岡建設代表取締役 村中 奈穂子 様より事例発表をしていただきました。

〔有限会社西岡建設 村中代表取締役の事例発表より〕

地域で子どもたちを育てたいという思いから、平成19年に「匠まつり」実行委員会(くりやまの匠たち)を立ち上げ、木育をテーマとした「匠まつり」を年に1回開催しています。

多くの人が足を運びやすい場づくりの工夫として、様々なブースを用意して、参加者が自分の好きなブースを自由に選べるようにしています。町内はもとより、道外から参加される方もおり、大工さんとのづくりを楽しむ「とんかち広場」は毎年、大好評です。

家庭教育支援に係る講座も参加者のターゲットを少し広くして、誰でも参加しやすいよう心がけることで、結果として、地域に子育てコミュニティができるなど、悩みや不安を相談しやすい環境づくりに繋がるかもしれません。



参加者の声

- 地域活動の中で家庭教育支援を考える良いきっかけとなりました。
- 取組事例が自治体・企業・地域とそれぞれの立場で聞くことができる内容だったため、とても参考になりました。

(※)「家庭教育支援チーム」とは？



子育て経験者をはじめとする地域の多様な人材で構成された自主的な集まりであり、身近な地域で子育てや家庭教育に関する相談にのったり、親子で参加する様々な取組や講座などの学習機会、地域の情報などを提供したりします。空知管内では2チーム(岩見沢市、砂川市)が文部科学省家庭教育支援チームに登録しています。

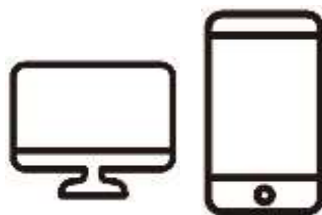
■子供たちの未来をばぐむ家庭教育ホームページ(文部科学省) <http://katei.mext.go.jp/index.html>

学力向上推進事業「子どもの望ましい生活習慣・学習習慣定着研修事業」

令和3年11月26日(金)、学力向上推進事業「子どもの望ましい生活習慣・学習習慣定着研修事業」を保護者や企業関係者等を対象にオンラインで実施しました。当日は、函館短期大学教授 藤井 壽夫 様より情報メディアとの上手な付き合い方について御講演をいただきました。

藤井教授からは「例えば、1日2時間メディアと付き合うことは1年間では730時間、3年間では2,190時間となり、中学校の授業時間に充ててみると2.5年分にもなります。」との御説明や、「スマートフォンやタブレットの利用については、大人も含めた家族みんなでルールを決めることが大切です。」とのお話をいただきました。

子どもが守るべきルールづくりが注目されがちですが、子どもと関わる大人も、子どもと一緒に情報メディアとの上手な付き合い方を意識してみませんか♪



空知 de 家読(うちどく) バトンリレー

「株式会社田端本堂カンパニー 代表取締役社長 田端 千裕 さん」のオススメ本

「精神科医が教える ストレスフリー超大全」

著者：樺沢 紫苑
(出版社：ダイヤモンド社)

〔オススメしたい発達段階〕

乳幼児期 (0歳～6歳)	小学生期 (6歳～12歳)
小学生期 (12歳～15歳)	○ 高校生期 (15歳～18歳)
○ 大人・保護者	



この本は、様々なストレス項目の対処方法が分かりやすく整理されていて、読みやすく、役立つ内容が書かれています。

- 例えば、
- 他人と自分を比べない。
 - 苦手な人の長所に着目してみる。
 - 自分を嫌っている人のことより自分の味方のことを考える。
 - 規則正しい生活習慣を身に付ける。
- 毎日7時間以上睡眠、1日20分以上運動、1日3食よく噛んで食べる。
心が軽くなるオススメの一冊です。

「株式会社田端本堂カンパニー」はこんな会社です！ ～顧客第一、社会の発展に寄与するカンパニー～

「仕事を通しての社会貢献」を企業理念に掲げ、地域行事等に企業として参加している会社です。さらに、近隣学校の遊具整備や校舎の屋根の雪下ろしなどにも取り組み、学校への貢献にも力を入れています。

また、家庭教育サポート企業として、従業員の方々が健康促進のために毎朝のラジオ体操の実施、女性職員が結婚・出産後に復帰しやすいようなサポート体制づくり、男性職員も子どもの教育に携われるような社風づくり、個別の休日カレンダー対応など従業員の方々が働きやすい環境づくりに取り組んでいます。

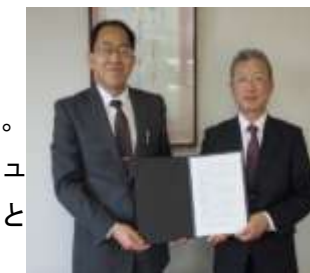


住 所：三笠市岡山 359-1
電話番号：(01267) 2-7300

11月24日(木)に及川産業株式会社と協定を締結しました。

及川産業株式会社は、家庭教育を支援するための職場環境づくりに取り組み、仕事と子育て、介護等の両立ができる働きやすい環境づくりに努められています。

また、中高生を対象とした職場体験活動では、名刺交換の方法や同僚とのコミュニケーションの大切さなどを教え、学校では学べない社会に出るために必要なことを経験させるよう工夫して取り組んでいます。



【左：空知教育局長、右：及川代表取締役社長】

「家庭教育サポート企業」募集中！

北海道教育委員会では、「家庭教育サポート企業」として協定を締結する企業を随時募集しています。

皆様の周囲で本制度に関心のある企業等の方がいましたら、下記の連絡先までお知らせください。

〔発行元〕北海道教育庁空知教育局教育支援課社会教育指導班(担当：石川)

電話：0126-20-0139

メール：ishikawa.kiwamu@pref.hokkaido.lg.jp

